

第 53 回 関東甲信越地区退職校長会連絡協議会栃木大会(埼玉県発表内容)

協議題 人との繋がりを大切にし、活動が見える退職校長会を目指して

～明るく豊かな生き甲斐のある人生を送るために～

◇共通課題

1 入会者の減少・中途退会者の増加等の問題の対応、加えて本年度からの役職定年制にあたってどのような対策をとったか。

近年、新加入者の減少傾向が続き、令和 6 年度の新入会員数は 85 名、退職者の 50.3%であった。昨年度の新入会員は 146 名、退職者の 73.4%に比べて本年度はかなり減少した。主な原因は、役職定年制の導入、年金支給年齢の引き上げ、さらには、よく知れた繋がりを重視して身近な地域の班や支部の退職校長会へ優先して入会し、県退職校長会には入会しない。また、埼玉県とさいたま市(政令指定都市で県から人事や採用・管理面が独立)との関係である。さいたま市の教育行政下で勤務し、そのままさいたま市の退職校長会に入会することが増えているので、県の退職校長会への入会者は前述のように減少傾向にある。対策は以下である。

(1) 役職定年制でも該当する校長へ事前に連絡を取り直接学校を訪問して入会案内をする。

○学校の課題等を聞きながら、本会や支部・班の意義、活動の重点・活動の現状を説明する。

○資料には会報(年 3 回)、ニュースレター(年 2 回発行)、入会案内、年金等の要望活動

(2) 現職校長会との交流する機会に前述の資料等を配布、説明する。

○退職校長会のホームページも案内し、閲覧を勧めるなど情報提供している。

(3) 呼びかけの人選を工夫する。以前から交流のある人や付き合いのある人、支部の役職のある人など誰が適任か工夫することも重要である。

2 現役世代との交流活動や学校支援活動として、どのように取組んでいるか。

本退職校長会は地域の現職との繋がりを深め、交流を図る「彩の国教育の日協賛」現職・退職校長支部別教育推進協議会を実施している。昭和 47 年から実施し平成 14 年より「彩の国教育の日」に協賛している。埼玉県は平成 15 年から教育に対する関心と理解を一層深める機会として毎年 11 月 1 日を「彩の国教育の日」、11 月 1 日から 7 日までを「彩の国教育週間」とした。教育の日を含む、教育週間には、家庭、学校、地域社会の連携のもとに、教育に関する様々な取組を推進している。埼玉県退職校長会は、この趣旨に協賛して 10 支部で毎年行っている。

令和 5 年度の状況は総参加者数 925 人(昨年 650 人)、研究発表主題は現職校長の発表(小・中学校)と退職校長の発表である。2 支部を抜粋して表記すると以下のようなものである

< 支部名 期日・時間 会場 参加者数 研究発表主題 >

入間支部	11月7日 14:00 ～16:30	入間市産業 文化センター	159人	○現職校長の発表 ●退職校長の発表 ○小学校「5つの柱を充実させ、学校力を高める」 ○中学校 誰もが居場所のある山口中学校 ●郷土の文化遺産火工廠を語り継ぐ
大里支部	11月7日 14:00 ～16:40	深谷市民 文化会館	123人	○中学校 私が誇るまち熊谷に学ぶ日本一荒中生の育成 ●退職校長「趣味仲間と共に」4名によるミニコンサート

3 地域社会への社会貢献活動としてどのように取り組んでいるか。

(1) 県本部が企画・運営している社会貢献・教育支援

① 校長退職後の再就職・待遇に関する実態調査

新会員対象に平成 9 年度より実施。役職定年制の導入で5年度をもって終了。検討中。

② 埼玉教育の振興に関する要望活動

平成 8 年より毎年時代に即した要望事項を掲げて提出している。年金制度、教員のなり手不足の解消や人材の確保、ICT 環境を活かす指導力の向上、小学校の専科教員の増員等の要望。提出先は県知事、議会議長、教育長である。

③ 「彩の国教育の日協賛」現職・退職校長支部別教育推進協議会(再掲)

各支部で活発な研究協議が重ねられ、PTA や地域住民の代表も参加される支部もある。

④ 現職・退職小・中学校校長会役員研究協議

○現職との交流会として、平成 9 年度から実施：毎年 12 月上旬実施。

○参加者：埼玉県小中学校校長会役員(現職)20 名、本会役員(退職)20 名合計約 40 名

○教育をめぐる諸問題

・調査研究及び対策担当者連絡協議会連絡(小学校校長会)

・全日本中学校理事会報告及び県教委との意見交換報告(中学校校長会)

・退職後の「再就職、待遇に関する実態調査」集計結果(退職校長会)

・「退職教員講師派遣プロジェクト」について(退職校長会)

・「彩の国教育の日」協賛、現職退職校長支部別教育推進協議会について(退職校長会)

・埼玉県退職校長会「ホームページ」について(退職校長会)

○退職教員講師派遣プロジェクト(県教委)への講師派遣 会員の持つ専門的知識や技能等を現場の教員へ伝え、現職教員の実践的な指導力の向上に寄与している

4 会員相互の交流活動としてどのような活動に取り組んでいるか。

社会状況の変化や会員の活動状況などから事業内容を工夫・改善して取り組んでいる。

(1) 県本部企画・運営の主な事業

① 会員名簿の作成(5 年ごとに見直し、個人情報への配慮・管理)

② 入会案内の作成(見やすくカラー印刷、10 月理事会配布)

③ ホームページの活用・拡大・充実と各支部や班との連携(平成 28 年開設、県本部や支部・班の活動状況を会員はじめ現職校長、一般の方へも情報提供。広報部ホームページ担当等が作成・更新・活用・啓発・指導)

④ 会報年 3 回発行(広報部が紙面や内容を工夫)

⑤ ニュースレター年 2 回発行(時期に適った情報提供、福利厚生部・研究調査部担当)

⑥ 囲碁・ゴルフ大会の開催(毎年 10 月実施、会員相互親睦を図る)

⑦ 慶弔関係(規定に基づき、物故者・喜寿・米寿・上寿者名を会報に掲載等。)

(2) 支部・班等企画運営の取組

各支部や班では、県と同様な取組をしていることが多いが、同好会的な活動が多彩に行われている。班によっては同好会だよりを発行するなど会員の募集や活動を広めている。

① 文芸関係 俳句、短歌、書道、文学散歩、川柳、歌舞伎鑑賞教室

② 美術関係 絵画、工芸、写真

③ 自然やスポーツ関係 ゴルフ、ハイキング、釣り、グランドゴルフ

④ 旅行 一泊研修、見学旅行、親睦バス旅行

⑤ その他 合唱、健康マージャン、放課後児童クラブへの協力、英会話